

4 中 学 校

生徒数 29,867 人で減少
長期欠席者数は 7 年連続減少

表11 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1 学級当たり		本務教員 1 人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7
24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0	47.2
25	82	1,030	30,372	0.0	2,172	0.9	29.5	△0.2	14.0	△0.1	46.9
26	83	1,039	30,419	0.2	2,183	0.5	29.3	△0.2	13.9	△0.1	46.6
27	83	1,024	29,867	△1.8	2,173	△0.5	29.2	△0.1	13.7	△0.2	46.2
国立	1	12	478	△0.4	23	0.0	39.8	△0.2	20.8	△0.1	26.1
公立	81	1,003	29,059	△1.8	2,129	△0.6	29.0	△0.1	13.6	△0.2	46.5
私立	1	9	330	△3.8	21	10.5	36.7	△1.4	15.7	△2.4	38.1

(1) 学校数

学校数は 83 校（本校 82 校、分校 1 校）で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が 1 校、公立が 81 校、私立が 1 校となっている。

市町村別では、富山市 29 校、高岡市 12 校、南砺市 8 校などとなっている。

学級数別では、11 学級が 11 校（構成比 13.3%）で最も多く、次いで 4 学級、12 学級がともに 7 校（同 8.4%）などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11 学級以下（小規模）」が 42 校（構成比 50.6%）、「12～18 学級（標準）」が 25 校（同 30.1%）、「19 学級以上（大規模）」が 16 校（同 19.3%）となっている。（表 11、統計表 51、53）

(2) 学級数

学級数は 1,024 学級で、前年度より 15 学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が 883 学級（構成比 86.2%）、複式学級が 1 学級（同 0.1%）、特別支援学級が 140 学級（同 13.7%）となっている。（表 11、統計表 52）

(3) 生徒数

生徒数は 29,867 人（男子 15,346 人、女子 14,521 人）で、前年度より 552 人（1.8%）減少している。これはピーク時（昭和 37 年度、88,658 人）の 33.7%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が 29,449 人、複式学級生徒が 8 人、特別支援学級生徒が 410 人となっている。

市町村別では、富山市 11,904 人、高岡市 4,469 人、射水市 2,847 人の順に多い。対前年度増減数をみると、舟橋村 8 人（6.1%）増加、小矢部市 4 人（0.5%）増加、上市町 2 人（0.3%）増加など 5 市町村で増加し、高岡市 191 人（4.1%）減少、富山市 182 人（1.5%）減少、砺波市 53 人（3.4%）減少など 10 市町で減少している。

1 学級当たりの生徒数は 29.2 人（前年度 29.3 人）で、全国の 28.2 人を上回っている。
本務教員 1 人当たりの生徒数は 13.7 人（前年度 13.9 人）で、全国と同数である。

（表 11、12、統計表 55、66）

表12 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039
23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305
24	30,364	15,507	14,857	10,197	10,074	10,093
25	30,372	15,529	14,843	10,122	10,187	10,063
26	30,419	15,523	14,896	10,117	10,113	10,189
27	29,867	15,346	14,521	9,654	10,110	10,103

（4）教員数及び職員数

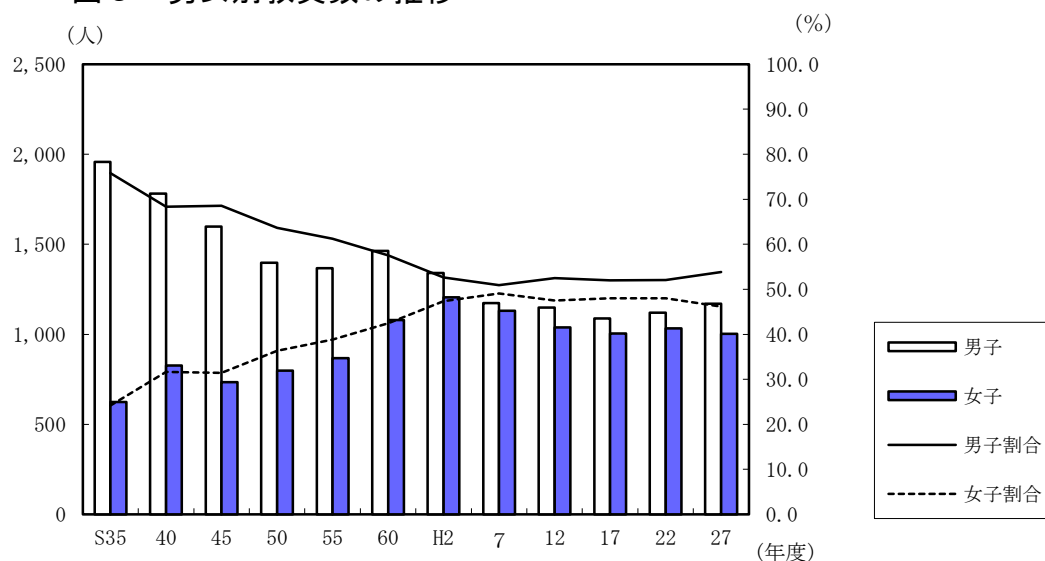
教員数（本務者）は 2,173 人（男子 1,170 人、女子 1,003 人）で、前年度より 10 人（0.5%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は 46.2% である。

職員数は 301 人で、前年度より 1 人増加している。（表 11、13、図 5、統計表 60、64、67）

表 13 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成 22	2,153	1,120	1,033
23	2,168	1,133	1,035
24	2,152	1,137	1,015
25	2,172	1,154	1,018
26	2,183	1,166	1,017
27	2,173	1,170	1,003

図 5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 26 年度間の 30 日以上長期欠席者数は、平成 25 年度間より 33 人 (4.0%) 少ない 800 人で、理由別では「不登校」が 589 人 (構成比 73.6%) で最も多く、次いで「その他」が 133 人 (同 16.6%)、「病気」が 77 人 (同 9.6%) となっている。

全生徒数 (平成 26 年度生徒数 30,419 人) に占める長期欠席者の比率は、全国の 3.62% より 0.99 ポイント低い 2.63% で、低い順に全国第 3 位 (前年度第 3 位) であった。

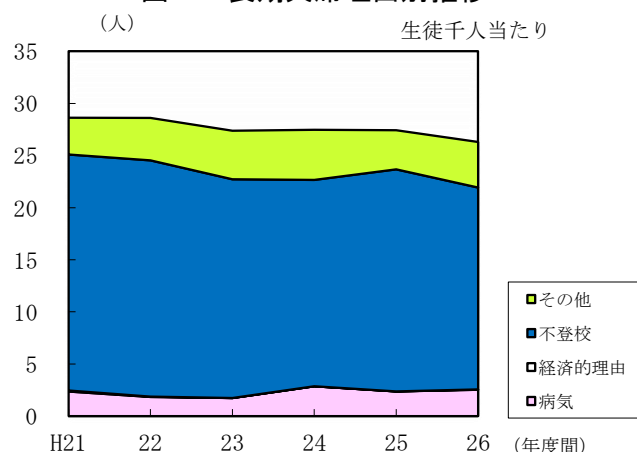
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国の 2.76% より 0.82 ポイント低い 1.94% で、低い順に全国第 1 位 (前年度第 4 位) であった。 (表 14、15、図 6、7、統計表 57)

表 14 理由別長期欠席者数 (単位:人)

年度間	計	長期欠席 (30日以上) 理由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124
23	835	53	—	640	142
24	834	87	—	601	146
25	833	72	—	647	114
26	800	77	1	589	133

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図 6 長期欠席理由別推移



生徒千人当たりの長期欠席者数 = $\frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$

表 15 全生徒数に占める
不登校の比率

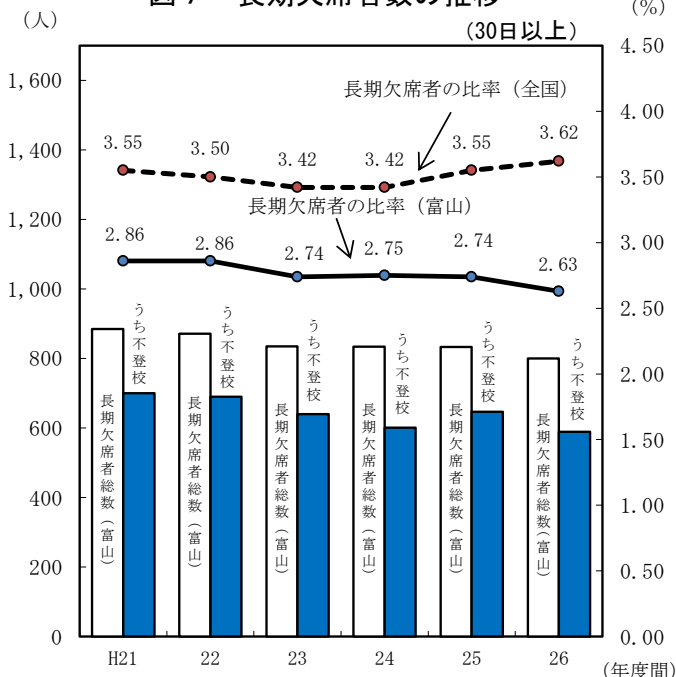
(単位:%)

年度間	富山県	全国
平成 21	2.26	2.77
22	2.27	2.73
23	2.10	2.65
24	1.98	2.57
25	2.13	2.69
26	1.94	2.76

比率 = $\frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 100$

注) 全国の不登校の比率は、中等教育学校 (前期課程) を含まない。

図 7 長期欠席者数の推移



注) 全国の長期欠席者の比率は、中等教育学校 (前期課程) を含まない。